

新型コロナウイルスの変異株(L452R)及び全ゲノム解析(NGS)検査状況 (長野県環境保全研究所での検査分)

令和5年1月29日現在
環境保全研究所感染症部

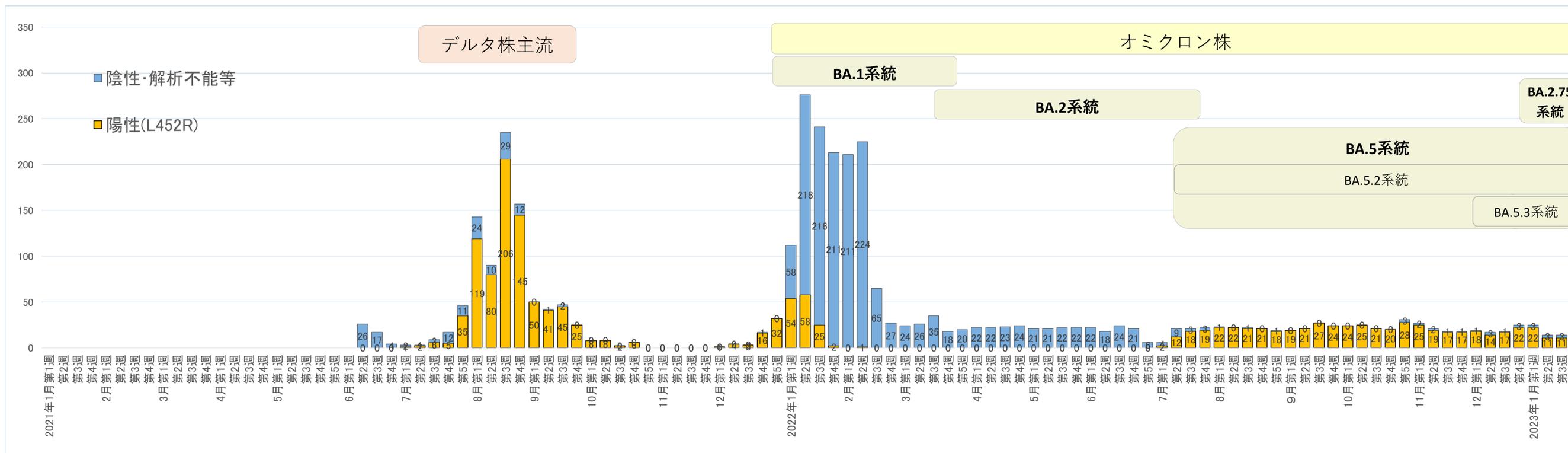
1 検査件数

令和3年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
変異株検体数						47	62	665	148	16	0	46	984
うち陽性数						0	37	586	145	16	0	45	829

令和4年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
変異株検体数	853	529	122	91	108	69	70	107	91	90	115	79	2,324
うち陽性数	150	1	0	0	0	0	51	104	91	90	106	71	664
NGS検査数			99	96	119	90	72	120	94	109	105	129	1,033

令和5年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
変異株検体数	53												53
うち陽性数	44												44
NGS検査数	74												74

2 受付週ごとの検体数の推移



* L452R変異を持つ変異株のうち、今まで「インド株」としていた変異株の名称は、「デルタ株」と変更されました。(令和3年10月26日以降、当所ではL452R変異スクリーニング検査を一時終了していましたが、「オミクロン株」検査対応のため令和3年12月3日から再開しています。)

* 2021年11月以降、L452R変異の陰性はオミクロン株が疑われていましたが、2022年7月以降、デルタ株の特徴であるL452R陽性を有したオミクロン株(BA.4及びBA.5系統)が出現しました。現在は、L452Rが陽性と陰性のオミクロン株が混在しています。

(令和4年3月7日から当所ではゲノム解析用の機器が整備されたためゲノム解析を開始しました。なお、令和3年10月11日から信州大学医学部附属病院でゲノム解析を開始しています。)